

「冬の信州省エネ大作戦・2015」について

長野県環境エネルギー課

県では、しあわせ信州創造プラン～長野県総合5か年計画～において「環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト」を掲げ、節電・省エネルギーの取組を推進しているところ。

また、長野県環境エネルギー戦略～第三次長野県地球温暖化防止県民計画～においても、最大電力の抑制を数値目標（平成32年度・▲15%（平成22年度比））に掲げ、節電・省エネルギーが構造的に定着した未来志向型のライフスタイル、ビジネススタイルへの転換を進めている。

こうしたことから、今冬においても長野県独自の数値目標を掲げた県民運動「信州省エネ大作戦」を展開し、県民総ぐるみでの節電・省エネルギーの取組を推進する。

1 今冬の電力需給の見通し

- ・各電力会社管内では、最低限必要とされる予備率(3%)が確保できる見通し。
- ・上記見通しは、節電の取組が継続されることが前提。
- ・火力発電の稼働率高い状態が続いており、老朽火力等のトラブル等による需給ひっ迫のリスクは依然としてある。

〈平成27年12月の電力需給見通し〉

(万kW)	東3社	北海道	東北	東京	中西6社	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9電力	沖縄
①最大電力需要	6,316	543	1,373	4,400	8,081	2,297	2,410	503	987	497	1,387	14,397	113
②供給力	7,244	631	1,456	5,157	8,601	2,426	2,531	554	1,097	515	1,478	15,845	172
②供給-①需要 (予備率)	928 (14.7%)	88 (16.2%)	83 (6.1%)	757 (17.1%)	520 (6.4%)	129 (5.6%)	121 (5.0%)	51 (10.1%)	110 (11.1%)	18 (3.7%)	91 (6.6%)	1,448 (10.1%)	59 (52.1%)

※「電力需給検証小委員会報告書」(平成27年10月27日)引用

※電力需給の見通しは、H27.12～H28.3のうち、中部電力管内の予備率が最も少ないH27.12を掲載

※需要値は、節電の定着分(中電管内:H22年度比▲2.8%)を織り込み済み

- ・こうした中、国からは、数値目標の設定は無いものの、現在定着している節電の取組が、国民生活や経済活動等への影響を極力回避した無理のない形で、確実に行われるよう、節電の協力が要請されている。

2 長野県の節電・省エネ目標

最大電力 ▲5% (H22年度比) 県機関:最大電力 ▲9%(H22年度比)
 H25,26年度冬季は、目標未達成のため、今冬は、目標達成のため県民一丸となって取り組む

国からは数値目標の設定はないが、節電の構造的な定着を目指して長野県独自に数値目標を設定

〈数値目標を設定する理由〉

- ① これまでの節電実績を踏まえた上での定着節電の確実な実行
- ② 「しあわせ信州創造プラン」に掲げる環境・エネルギー自立地域の創造及び「長野県環境エネルギー戦略」の着実な実行
- ③ 目標の達成状況の評価などを通じた、将来の節電・省エネルギー対策の検討

しあわせ信州創造プラン及び長野県環境エネルギー戦略に掲げる数値目標の達成に向けた前向きな取組を推進

〈長野県環境エネルギー戦略に掲げる数値目標との関係〉

指標名	基準値 2010年度 (H22年度)	区分	目標(2010(H22)年度比)											
			2011年度 (H23年度)	2012年度 (H24年度)	2013年度 (H25年度)	2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度 (H32年度)		
最大電力	297万kW	戦略の目標	目標	▲3.5%	▲5.0%	▲6.0%	▲7.0%	▲9.0%	▲10.0%	▲11.0%	▲12.0%	▲14.0%	▲15.0%	
			実績	▲7.7%	▲10.1%	▲10.4%	▲12.9%	▲12.2%	-	-	-	-	-	
		省エネ大作戦	夏	目標	▲5.0%	▲5.0%	▲6.0%	▲7.0%	▲9.0%	-	-	-	-	-
			冬	目標	-	▲3.0%	▲5.0%	▲5.0%	▲5.0%	-	-	-	-	-
			実績	▲3.5%	▲7.2%	▲0.5%	▲1.2	-	-	-	-	-	-	

・長野県は寒冷地であることから冬季の方が最大電力が大きい。

・昨冬は、寒波の影響で目標の達成に至らなかったことから、今冬においては目標数値を据え置きとする。(県機関においては昨冬の目標に1ポイント上乘せ)

3 取組期間 12月1日(火)～3月31日(木)

4 取組方針

- (1) 県民生活や経済活動に影響を及ぼさない、無理のない範囲での県民運動の展開
- (2) ピーク時間帯における最大電力の抑制を中心に呼び掛け
- (3) 未来志向型のライフ・ビジネススタイルへの転換につながる、前向きな節電・省エネ対策
- (4) 経費の削減や地域経済の活性化、生活の質の向上に資するよう配慮
- (5) 市町村、経済団体、消費者団体、マスコミ等、県内関係機関との連携・協働
- (6) カット(減らす)・シフト(ずらす)・チェンジ(切り替える)の推進

5 主な取組内容

- New!** 県内事業者へ電力ピーク抑制に繋がる情報の発信!
 (天気予報等に基づく電力ピークの発生の可能性や電力ピーク対策等の情報提供)
- New!** 「信州あったかシェアスポットシールラリー」の展開!
 (県内各スポットを巡り、楽しみながら節電・省エネ)

取組主体	取 組 内 容
全 般	<p>《節電・省エネアクションメニューによる取組》 長野県版の「冬季の節電・省エネアクションメニュー」(家庭・事業者・県機関向け)について、様々な媒体を通じ、県内の家庭、事業者等への浸透普及を図る。</p> <p>《信州あったかシェアプロジェクト》 ピーク時間帯を中心に、家庭の暖房器具を止めて、暖かく楽しく過ごせる場所(信州あったかシェアスポット)や行事等(信州あったかシェアイベント)への外出を促し、社会全体としての電力需要の削減と、地域経済の活性化を図る。</p> <p>《建築物の環境エネルギー性能・自然エネルギー導入検討制度》 建築物を新築する際に、断熱性等の環境エネルギー性能や自然エネルギーの導入可能性を建築主に検討して頂き、建築物の省エネ化や自然エネ導入を促進する。</p>
家 庭	<p>《信州あったかシェアスポットシールラリー》 シールラリーに参加しているスポットを利用すると各スポットからシールが配付され、3枚集めて応募いただいた人の中から、抽選で素敵な景品をプレゼント。</p> <p>《信州あったか料理の募集・紹介》 「おいしい信州ふード(風土)」の信州ふードレシピの中から、特に体の温まる料理やレシピを「信州あったか料理」として紹介する。また、信州あったかシェアスポット登録者からも同様の料理・メニューを募集し、広く紹介を行う。</p> <p>《家庭の省エネサポート制度》(ライフスタイルの転換、経費削減) 電気・ガスなどの民間事業者が県民と接する機会を活用して、省エネアドバイスや省エネの簡易診断を実施する。</p>
事 業 者	<p>《WARMBIZスタイルの推進》(ビジネススタイルの転換) 適正暖房の徹底とそれにふさわしい服装や身体を暖める工夫の推奨。</p> <p>《事業活動温暖化対策計画書制度》 事業活動に伴うエネルギー利用の効率化を図るため、事業者が温室効果ガスの排出を抑制するための計画を策定する際に、県が積極的に関与し、助言や指導、評価等を行う。また、今年度は、初めて、事業活動温暖化対策計画書提出事業者(281者)をはじめとする県内事業者に対して、天気予報等に基づく電力ピークの発生の可能性や電力ピーク対策等、電力ピーク抑制に繋がる情報を配信し、ピークの抑制を促す。</p> <p>《信州省エネパートナー》 事業者の主体的な節電・省エネルギーの取組を促すため、具体的な取組を行う事業者を「信州省エネパートナー」として登録。その取組内容を県ホームページ等でPR。</p>
県 機 関	<p>《長野県職員率先実行計画に基づく取組》 暖房の適正運転(室温19℃)、パソコンディスプレイの適切な明るさ設定</p> <p>《しごと改革・業務改善による節電・省エネ・時間外勤務の削減・ワークライフバランスの推進》</p> <p>《WARMBIZスタイルの推進》(ビジネススタイルの転換) 適正暖房の徹底とそれにふさわしい服装や身体を暖める工夫の推奨。</p> <p>《エコマネジメント長野の運用》 環境マネジメントシステムの着実な運用を通じた節電・省エネルギーの推進</p>